

2次元バーコードリーダー 1900GHD-1USB クイックセットアップ

TEL:045-508-5201
http://www.a-poc.co.jp/

Ver 201301D

セットアップ

1900 のモジュラーコネクタに付属の USB ケーブルを接続し、USB ケーブルをパソコンに接続してください。自動的にドライバがインストールされます。

パソコンのアプリケーション(メモ帳など)を立ち上げ、バーコードを読み取ってお試し下さい。パソコンにバーコードの文字が入力されたら、正常動作しています。使用開始してください。

設定の方法

設定用バーコードメニューを1900で読み取ると、リーダー本体の機能が設定・保存されます。以下は基本的な設定メニューです。

詳しい設定はホームページ(製品案内 > 2次元バーコードリーダー > 1900 > ダウンロード)から説明書をダウンロードしてご使用ください。

* 印は出荷時の設定です。

インターフェースの設定

* USB キーボード
英語キーボード配列



USB キーボード
日本キーボード配列



(注)USB COM ポートエミュレーションの設定は裏面にあります。

ブザー音量 - グッドリード

Low(低)



Medium(中)



* High(高)



Off(オフ)



サフィックスの設定 サフィックスはバーコードデータの後に付加するキーの設定です。

全てのシンボルの
サフィックスに
CR(ENTER)を付加する



全てのシンボルの
サフィックスに
TAB を付加する



サフィックスを
クリア(消去)する*



初期設定のリセット

工場出荷時の設定に戻す



プラグインを使っていない場合、このメニューのみで初期化できます

スキャナの再起動



プラグインも初期化する場合
①初期設定のリセット→②スキャナの再起動を読み取って下さい

【ご注意】「プラグイン」の設定は弊社が販売する 1900(本紙が入っている製品)でご使用いただけます。



プラグインの詳細については、弊社ホームページ配布の資料をお読み下さい。




プラグイン：連結 QR コードの設定

最新版は出荷時の状態で、連結 QR を「一括編集して出力」します。(下記設定は不要です)

※「編集して出力」が必要なときは、①→②→「(2)編集して出力」の順で設定コードを読み取って下さい。

※「一括編集して出力」または「編集しない」を設定することも出来ます。

<p>①プラグイン有効化</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ソロモン QR デコーダ有効化 ・ Xenon QR デコーダ無効化 	<p>②スキャナの再起動</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・再起動のブザーが鳴ったら (1)～(3)を選択して下さい
---	---

<p>(1)編集しない</p>  <p>1 個読むごとにデータを出力する ※データを連結しません</p>	<p>(2)編集して出力</p>  <p>1 個ずつ読み取り、すべて認識したらまとめて 1 データを出力</p>	<p>(3)一括編集して出力</p>  <p>一括で読み取り、1 データを出力 ※データ量が多いと時間がかかる場合があります</p>
---	---	---


プラグイン：GS1 フォーマットの設定

GS1 フォーマットのその他の設定は弊社ホームページで配布している説明書などをご覧下さい。

①→②→③→④の順で設定コードを読み取り、(1)～(4) いずれかの設定コードを読み取って下さい。

<p>①プラグイン有効化</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ GS1 フォーマットを有効化 	<p>②Code128 を有効にする</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ GS1-128 	<p>③コンジットを有効にする</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ GS1 Databar(RSS) 合成シンボルの 2 次元部分
<p>④スキャナの再起動</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・再起動のブザーが鳴ったら (1)～(4)を選択して下さい 	<p>(1)ノーマル出力</p>  <p>出力例： 011491234567890117100420...</p>	<p>(2)AI 識別子()付加出力</p>  <p>出力例： (01) 14912345678901 (17) 100420...</p>
<p>(3)AI 識別子付きでデータ間を TAB 区切り出力</p>  <p>出力例：0114912345678901<TAB> 17100420</p>	<p>(4)AI 識別子なしでデータ間を TAB 区切り</p>  <p>出力例：14912345678901<TAB> 100420</p>	<p>【備考】括弧記号を正しく出力しないときは、インターフェースの設定で「日本キーボード配列」を設定して下さい。</p> <p>【備考】GS1 はここにある設定以外に、設定ソフト GS1 Format Editor で様々な設定を行えます。弊社ウェブサイトをご覧ください。</p>

インターフェースの設定(USB COM)

<p>【注意】</p> <p>この設定コードは覆い隠すなどして、誤って読み取らないようにして下さい。 読み取る前に、スキャナを PC から外した状態で専用ドライバをパソコンにインストールする必要があります。</p> <p>USB COM ポートエミュレーション</p> 	<p>2 次元コードの日本語データについて</p> <p>① インターフェースを USBCOM ポートエミュレーションに設定する必要があります。</p> <p>② 弊社取り扱いの下記のソフトウェアのいずれかをパソコンにインストールする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Easy Catcher (無償ソフト) ・ COM de KEY(有償ソフト) <p>ご不明な点はお問い合わせ下さい。</p>
---	---